

横浜市立大学論叢社会科学系列 2019 年度：Vol.71 No.2

西島益幸教授、ご退職をお祝いして

吉 川 智 教

西島先生、横浜市立大学定年退職おめでとうございます。

先生の研究業績リストを改めて拝見して、日本では数少ない国際的に活躍しているゲーム理論の経済学者であることを改めて思いしらされます。

普通のサラリーマンですと、定年後は、趣味に徹して、これからは自由に時間を使って生活するという言葉をする人が多いようです。しかし西島さんは、他の多くの研究者と同じように残念ながらほとんど趣味はなさそうです。これからも、ご研究なさると思います。私が尊敬する何人かの先生方も、趣味はなく、研究のみという方が多くいます。大体 85 歳まではお元気に研究をされていることのようにです。現在は 65 歳で、他大学で教えたとしても、後 20 年は研究生活が可能です。

いままでは、多くの時間を教育とその行政に使われたわけで、これからは、その時間も自由に使うことが可能です。

西島さんは、スタンフォード大学を始め、研究休暇をとり何回か海外で客員の経験をされています。これから、再び、海外で研究休暇をお取りになる計画もあるのかもしれませんが。その意味では、これから先は、正に、Eternal Sabbatical、永遠の研究休暇になります。

もうすでに、今後の 20 年間の研究計画をお作りかもしれませんが、まだであればワクワクしながらお作りください。

定期的に運動をして、(週に数回は、運動を意図的にして) 健康に留意して今後もよい研究成果をお出しください。期待しています。

Eternal Sabbatical おめでとうございます。